

令和元年第4回北竜町議会臨時会

令和元年 8月27日（火曜日）

○議事日程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 議案第50号（仮称）やわら保育園地中熱設備工事請負契約の締結について

○出席議員（7名）

- | | |
|-----------|----------|
| 1番 中村尚一君 | 2番 尾崎圭子君 |
| 3番 北島勝美君 | 4番 小松正美君 |
| 6番 松永毅君 | 7番 藤井雅仁君 |
| 8番 佐々木康宏君 | |

○欠席議員（1名）

- 5番 小坂一行君

○出席説明員

- | | |
|---------------------------|--------|
| 町長 | 佐野豊君 |
| 副町長 | 高橋利昌君 |
| 教育長 | 本多一志君 |
| 総務課長 | 続木敬子君 |
| 企画振興課長
兼ひまわりプロジェクト推進室長 | 南波肇君 |
| 住民課長 | 東海林孝行君 |
| 建設課長 | 奥田正章君 |
| 産業課長 | 細川直洋君 |
| 農業委員会
事務局長 | 南秀幸君 |
| 教育次長 | 有馬一志君 |
| 会計管理者 | 北清広恵君 |
| 地域包括支援
センター長 | 南祐美子君 |
| 永楽園長 | 森能則君 |
| 和保育所準備室長 | 杉山泰裕君 |
| 総務課主幹 | 高橋克嘉君 |

○出席事務局職員

- | | |
|------|-------|
| 事務局長 | 高橋淳君 |
| 書記 | 橋本僚太君 |

◎開会の宣告

○議長（佐々木康宏君）

ただいま出席している議員は、7名であります。

定足数に達しておりますので、令和元年第4回北竜町議会臨時会を開会いたします。

◎開議の宣告

○議長（佐々木康宏君）

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐々木康宏君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により議長において、4番、小松議員及び6番、松永議員を指名いたします。

◎日程第2 会期の決定

○議長（佐々木康宏君）

日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間にいたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君）

異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間に決定いたしました。

◎日程第3 諸般の報告

○議長（佐々木康宏君）

日程第3、諸般の報告を行います。

本臨時会に提出された案件は、議案1件であります。

次に、本臨時会に説明員として、佐野町長、高橋利昌副町長、本多教育長、続木総務課長、南波企画振興課長兼ひまわりプロジェクト推進室長、東海林住民課長、奥田建設課長、細川産業課長、南秀幸農業委員会事務局長、有馬教育委員会教育次長、北清会計管理者、南祐美子地域包括支援センター長、森永楽園園長、杉山和保育所準備室長、高橋克嘉総務課主幹が出席いたします。

本会議の書記として、高橋淳局長、橋本書記を配します。

以上で諸般の報告を終わります。

◎日程第4 議案第50号

○議長（佐々木康宏君）

日程第4、議案第50号（仮称）やわら保育園地中熱設備工事請負契約の締結についてを議題といたします。

理事者より提案理由の説明を願います。

高橋副町長。

○副町長（高橋利昌君）

（説明、記載省略）

○議長（佐々木康宏君）

提案理由の説明が終わりました。

議案第50号について質疑があれば発言を願います。

6番、松永議員。

○6番（松永毅君）

再確認の意味が多いんですが、今までの地中熱に対しての説明についてはですね、何メートルの管1本しか掘らないような言い方をしていたような気がしますし、ここでは100メートルを22本、100メートルの井戸の管を掘ったという風に推察しているのですが、これが22本そして121キロワットこれもよく分からないのでそこら辺の説明をしていただきたいのと、今副町長がですね、資料の裏面に書いてあるこれは地熱パイプの這わせてある図面だという風に素人ながらとりますけど、そこら辺のですね、前回との説明がかなり変わっているのではないかこういう風に思います。ただ、素人ながらに考えるとですね100メートル掘ってじゃあその地熱がいくらあったのか。そしてそれをどうやって熱交換しているのか。これ物理的か科学的かどっちかの方法だと思うのですが、そこら辺がよく分かりません。この地熱がですね、近場に温泉地帯があって100メートル掘ったら20あるいは30度のそれなりの地熱があったと、それを熱交換するって言うなら素人でも分かりやすいんですが、100メートルを22本掘って果たしてどれだけ効果があるのか、そこら辺をもう少し詳しく説明していただきたいと思います。

○議長（佐々木康宏君）

奥田建設課長。

○建設課長（奥田正章君）

松永議員から質問があったことについてご説明申し上げます。

おそらく前回の説明の中ではこの地中熱のポンプというのは地下100メートルという説明はすでにしてるかと思われま。これに対する熱交換の関係ですけれども、地中の温度を利用するということで年間10度くらいの温度を引き上げることによって熱量を得ると、一応ですね年間のランニングコストの方ですけれども、これを設置することによって30年で2千万円以上のコスト削減が見込まれるということとなっております。年間のトン数ですけれども40トン程度の二酸化炭素の削減量を確保出来ることとなっております。以上です。

○議長（佐々木康宏君）

6番、松永議員。

○6番（松永毅君）

今、担当者の方から説明がございましたが、今まで温泉でも地中熱をやっている。同じようなことをやっているのは間違いないと思います。温泉の場合はこれだけの長い距離のヒートポンプに対する配管は説明されていません。今、担当者が前回説明したと言いますが、前回もこのことについて1、2回の説明があったかと思います。今言ったように地熱はどのくらいあったんですかと聞き漏らしたのか知りませんが、100メートル掘っての地熱のそれなりの機関が調べた公的な温度の説明があって然るべきかと思います。質問回数もありますので、端折って次も言いますが、これだけの1億4千万もかけるなら石油ストーブ10機つけても140万その年間のコストみたってしれてる。これだけの金額なら100年くらいもつんじゃないかと灯油にしたら。ここであれだけの複雑な施設をどうやって、どんだけカバーできるのか。あるいは、あっちこっちになんと言うんですか、お湯の出るポンプに対してパネルっていうんですか簡単に言うとね。そういうのつくとそれ1個や2個じゃないと思います。その修理、修繕あるいは前回温泉でも事故とは言いませんが、その欠陥が把握されてやり直して4千万か5千万の修理費がかかっているはずですね。そういうの鑑みるとですね、この地域はこの雪の多い所ではですね、地熱あるいは自然を利用しての地熱が果たして適当なのか。ちょっとこれ話が前後しますが、そういうのを絡めてですね、今更これ出てきたやつを引っ込めれと言っても引っ込められないでしょう。じゃあこの責任はもう一回よく言います。私の言い方をするとこの責任は誰が取るのか。これがいち小さな会社なら申しません。会社が事務所なんか建てる時にこれだけの金額をかけて施設は作らないと思います。そこら辺も含めてもう少し詳しく説明してください。

○議長（佐々木康宏君）

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時38分

再開 午前 9時51分

○議長（佐々木康宏君）

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

6番、松永議員。3度目の質疑です。

○6番（松永毅君）

今、町長の言ったように町村では何ヶ月と聞き直してからのあれですが、それは温泉の洗い湯、要するに最後のお湯を使った施設を使ってる風な話も聞いてます。知っています。それから今、町長の答弁の中で、まあこれは雑然的な話になるのですが、温泉の出るなんとかガス、その再利用の話も分かります。だが、この地熱を使うのは今、雨竜なんかも新しい庁舎を建てました。あるいはこれから北空知の中でいろんな施設が出るでしょう。だが、そんな中でこの地熱を大いに利用したっていうにはあまり聞いてもないし、町長が言った一番先の手かけ、それについての功績については前段にも申し上げたと思いますが、川田技官の勉強した効果は認めます。だが、この北竜町の財政でどれだけ、いまそこに財政担当も来ていますが、これだけ北竜町の財政が持つのか、これ一面だけ見ればそりゃ持ちます。だが、起債だとかな

んだかっていうそれは返さなくていいお金じゃなくてなんらかの形で返していかなきゃならないお金でしょ。きっと。それはいろんなことを網羅すると、この小さな1,800の人口に対して果たしてこれだけの経費を使ってやれるのかそこら辺疑問に思います。ですから、今までの地熱のあれについてもですね、聞いてます。ただ、今初めて聞いたのは金気でパイプが詰まったというような町長の言い方かと思いますが、当時はなんていうんですか、ヒートポンプのじゃなくて、中のフィルターのあれが違って、それを取り替えたというような説明を別な方で聞いています。そういうようないろいろ積み重なって、その時灯油も電気も使ってます。それで一度問いただしてはいますが、それでその時の灯油がいくらで、電気がいくらってそういう説明もその時聞いています。だから町長の言うことは少しずれている。ずれているってのは失礼だが、少し喰い違いがあったように質問を受けています。まあ、そういうことも含めてですね、今更ここに出てきたやつ引っ込めて帰るわけにもいきませんし、果たしてこれでどういう弊害が出るのか、その時はおそらく担当者がどういうふうに議会に説明するのか。今、私が言っていることは全部記録に残っていますから、これは一般人でもその記録は確認できます。議事録の確認はですよ。その時にどういう風な説明をして収支をうつのか。どういうふうな災害って言ったならあれですけど、どういう風な機械的な故障が出るのか。そこら辺が、ヒートポンプが使えなかったらやっぱり灯油を使わなきゃいかんのでしょうか。灯油を使うあるいは電気を使う。それは1日、2日ならいいでしょうが、そこら辺どんだけで消化出来るのかそれはまだ考えながら、おそらく説明するでしょう。そういうわけで何回も言いますが、今更出した議事の進行ついてですね、今更町長も含めて断るわけにはいきません。ただ、私は常日頃、説明を聞いておった一つの中でのですね悩みあるいは不思議、一般常識としてはあり得ない様な説明もないとはいませんが、あります。そこら辺も含めてですね、あえて臨時議会の議案についてしつこく説明をさせていただいております。ただ、これはまあいろいろあってですね、私が常日頃言っているのは100%正確だとは思いません。正確だとは思いませんが、この1億4千万が7億だろうと8億だろうと私の財産には一切関係ございません。そんな気楽なつもりで聞いているわけにもいきません。ただ、こうやって立ち上がってですね許可もらって喋っているこれだけの為にただこの部屋におけるわけじゃない。そこら辺少しはですね考えていただきたいし、これは重要な案件だという風に私はとっております。この1億4千万のさっきからいろんな説明ありました800万うんぬんというのがありますが、それじゃあすまないということであえて言わせていただきます。以上です。

○議長（佐々木康宏君）

答弁ありますか。

佐野町長。

○町長（佐野豊君）

何回も私たちも答弁させていただいておりますけど、財政的にも一番有利な方法、そして、自然エネルギーを活用しているということも時代の中にあって最もふさわしいと思っております。1億4千万の内、実質、一般財源の支出は1,600万です。これ以上有利な事業ってほとんどないんじゃないですか。その辺も松永議員さんにはご理解をしていただきたいと思っております。

○議長（佐々木康宏君）

質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（佐々木康宏君）

討論を終わります。

採決をしますけれども、決を採りますか。

（何事か声あり）

○議長（佐々木康宏君）

原案に賛成の方は挙手を願います。

（挙手多数）

○議長（佐々木康宏君）

挙手多数により、原案どおり可決されました。

議案第50号（仮称）やわら保育園地中熱設備工事請負契約の締結については原案どおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（佐々木康宏君）

本臨時会の会議に付された案件は全て終了いたしました。

これで、令和元年第4回北竜町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時00分

この会議録の次第は、書記橋本僚太が記載したものであるが、その内容が正確であることを証明する。地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員